

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

吉田 光一 会長 年度テーマ  
よりハイレベルに！  
例会会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000  
例会日時 木曜日 12:30  
クラブ会報広報委員長 成田 勝彦



2008-09 年度 R.I 会長  
李東建(リー・ドンカン)

承認 1995.3.28  
会長 吉田 光一  
幹事 西川 博  
事務局 名古屋市中区栄 3-29-1  
名古屋クレストンホテル 1007 号  
TEL 052-263-1324  
FAX 052-263-0730  
Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp  
HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

## 第644回 例会 No.12 平成 20年9月25日(木) 晴

### 秋のお月見家族例会 於 八事山 興正寺 18:30~

ロータリーソング 「手に手つないで」

出席報告	会員54名中33名出席
出席率	66.67% 出席計算人数 49名
修正出席率	9月11日 96.08%
スピーカー	八事山興正寺住職 梅村正昭様
ゲスト	八事山興正寺副住職 梅村昌寛様 他八事山興正寺役員2名 中部経済新聞 伊藤 博様 会員ご家族ご友人 21名
ビジター	四日市RC 萩野昌毅さん以下 64名

### 会長挨拶

吉田光一

皆さん今晚は！！

多勢の会員の方、そして会員御家族及び御友人の皆様、ようこそおいで下さいました。

心より御歓迎申し上げます。

さて昨年に引き続き、この八事山興正寺様の御好意で今年もお月見例会が開催出来ます事、興正時御住職の梅村正昭様始め寺社の皆様本当にありがとうございます。名古屋丸の内ロータリークラブを代表致しまして、厚く御礼申し上げます。

今年の興正寺様は「五重の塔 建立200年」になられます。この記念すべき200年祭に合せて、寺社内の一たび大改修が実施され、皆様から見て頂いて正面右側の竹林後方から正面左側の渡り廊下を始め、左手奥の社殿も立派に完成され、平成の大改修が行われました。

そして9月10日の入山式に始まり、9月15日迄は今春流の新能の公演とかバイオリン演奏等の奉納も実施されまして、盛大な200年祭でした。

一方、中京テレビでも特別番組として9月21日午前10時55分から放送されましたので、御覧になられた方も多し事と思います。

仲秋の名月に燦然と輝く数々の荘厳な建物とこの正面の美しいお庭、全く見事なものでした。

テレビ放送を見逃された方は、続編が9月28日午前10時55分から 八事の風に吹かれて～八事山興正寺五重塔建立二百年祭～案内人に竹下恵子を迎えて、五重塔建立200年祭のステージイベントの様子を織り交ぜながら、知られざる興正寺の秘宝や歴史を紹介！今週は、昔の八事と今の八事の比較から始まります。

いずれに致しましても、この歴史的寿ぎの大祭の時にこの場で例会を開かせて頂き、皆様と一緒に楽しませて頂ける事は感謝感謝合掌であります。

今夜、ここに御集まり頂いた皆様は200年に一度のビッグチャンスに恵まれた幸運な方々です。この「運」を大切に、これからのビジネスにそしてそれぞれの御一族に多くの幸せが訪れる事、間違いありません。

あとは皆さんがその訪れてくれた幸運をしっかりつかまえて頂く事です。

このビッグチャンス逃さない為に、今夜は興正寺様に感謝しつつ、お食事やバイオリンとエレクトーンにお琴の演奏を楽しませて頂きましょう。

本日はこのあと八事山興正寺様の御住職、梅村正昭様よりお話を頂きます。御静聴ありがとうございます。





リー・ドンカン RI会長メッセージ  
(ROTARY JAPAN WEBより抜粋)

ビジネスとロータリー

親愛なる同僚ロータリアンのみなさん、私がまだ子どもだったころ、韓国はとてもひどい戦争を経験しました。戦後、韓国は諸外国の政府や人道的団体から受けた甚大

な援助のおかげで、健康、希望、それに経済成長を、軌道に乗ることができました。

**倫理的な行動を重んじる**

その戦争から数十年で、韓国の経済とロータリークラブの会員数は、ともに目覚ましい成長を遂げました。私はこれには二つの理由があると考えています。その一つは、私たちがかつて援助を受けたように、自分たち自身もほかの人たちに手を差し伸べたいという韓国人の思いです。もう一つは、誠実、名誉、勤勉、公正といったロータリーの価値観が韓国人には生まれながらにして備わっているということです。

ロータリーの核となっている価値観の多くは、韓国のビジネスにおいても価値観の核となっています。韓国人の人は「四つのテスト」の創案者ハーバート J. テイラーが伝えようとした教えを非常によく知っています。私たちが倫理的な行動を重んじなければ、職業的な成功は望めません。倫理的な行動があつてこそ、私たちは成功するのです。

**個人の良好な関係が良いビジネスの基礎**

韓国企業が入社面接する際には、「chim shin uro」すなわち、「純粋な心」を求めます。純粋な心をもっている人は、個人として誠実であり、他人に対しては敬意や尊敬の念をもって接し、常に正しい行動を取ることができると見なされる人物だからです。これは会社では高く評価される特性であり、同じようにロータリーでも重要なことです。ロータリアンとして私たちの誠実さは、ビジネスの世界で、奉仕活動で、そして人生において、私たちが成功に導くものです。純粋な心とは、私たちがロータリーで「超我の奉仕」と呼んでいるものです。

韓国人はまた「chip an」として仕事の話をします。「chip an」とは「家庭的」という意味です。それは働くことが自分にとってどれくらい大切であるか、自分の会社がいかに家族と同じような存在であるかについて表現する方法の一つです。私たちのビジネスや会社にいる人々は、尊敬と敬意、そして尊厳をもって処遇されなければなりません。というのは、韓国人は個人の良好な関係は、良いビジネスの基礎であると信じているからです。

**私たちが奮い立たせる純粋な心**

ロータリーに在籍している私たちにとっても、すべてのロータリアンの仲間たちや、ロータリーを通じて私たちが奉仕する人々との人間関係と同様に、顧客、同僚、それに従業員たちとの正直で開かれた人間関係は大切なものです。

真の奉仕は、私たちが奉仕に「家庭的」な雰囲気をもち込んだときに、私たちに純粋な心をもたらしてくれます。これが「超我の奉仕」の背後にある本質です。これこそが、日々、私たちが奮い立たせ、挑戦に駆り立てているロータリーの真の姿なのです。

**次回例会のご案内**

10月10日(金) 第 646 回例会変更

「秋の家族会 = 歌舞伎鑑賞 =」

10月16日(木) 第 647 回例会

外部卓話 本ビルクラブ 大棟耕介 様